

(1) ポエムの歌

作詞・作曲…中山善照
合唱・編曲…奥野純子

一 江戸の昔の神辺は神辺はー

菜の花咲くと見えてくる

茶山先生 野道を散歩

蝶を追いかけてついてゆく

蝶の行く先 花いっぱい

茶山先生 蝶とゆく

※CHAZAN POEM

CHAZAN POEM

茶山ポエムを歌おうよ

(※以下くりかえし)

二 江戸の昔の神辺は神辺はー

柳の風に見えてくる

茶山先生 すだれをあげた

ツバメが家に入れるよう

軒先高くすだれをあげた

茶山先生 やさしいね

三 江戸の昔の神辺は神辺はー

ゆかたを着ると見えてくる

茶山先生 夜道を帰る

ホタルの光で山橋わたり

歌を歌ってみんな帰る

茶山先生 楽しいね

四

江戸の昔の神辺は神辺はー

ススキの無効に見えてくる

茶山先生 子供と月見

砂で囲った川辺の水を

子供かきまぜ月影ゆれる

茶山先生 うれしそう

五

江戸の昔の神辺は神辺はー

霜降る冬に見えてくる

茶山先生 とし七十五

川や山にやまた春来うに

蝶の行く先 花いっぱい

茶山先生 頭をなでる

六

江戸の昔の神辺は神辺はー

書物をめくると見えてくる

茶山先生 知っていた

地球が丸いと知っていた

大海こえゆく異国の船を

茶山先生 かしこいな

七

江戸の昔の神辺は神辺はー

春の光に見えてくる

茶山先生 梅見に行つて

ついつい一枝いただいた

花の神様許しておくれ

茶山先生 花が好き

八

江戸の昔の神辺は神辺はー

風の寒さに見えてくる

茶山先生 どこ行つた

香り訪ねて梅咲くところ

村のはずれと伝えておくれ

茶山先生 花が好き

九

江戸の昔の神辺は神辺はー

夕陽沈むと見えてくる

茶山先生 懐かしむ

むかし友だち訪ねた道は

今は秋風吹くばかり

茶山先生 さびしいな

十

江戸の昔の神辺は神辺はー

春の陽気に見えてくる

茶山先生 昼寝してる

花咲く山野の岩棚で

気がつきや夕陽は西の山

茶山先生 野山は我が家

十一

江戸の昔の神辺は神辺はー

山道通れば見えてくる

茶山先生 駕籠でゆく

竹田の細道 山の道

谷間の草や花の中

茶山先生 駕籠でゆく